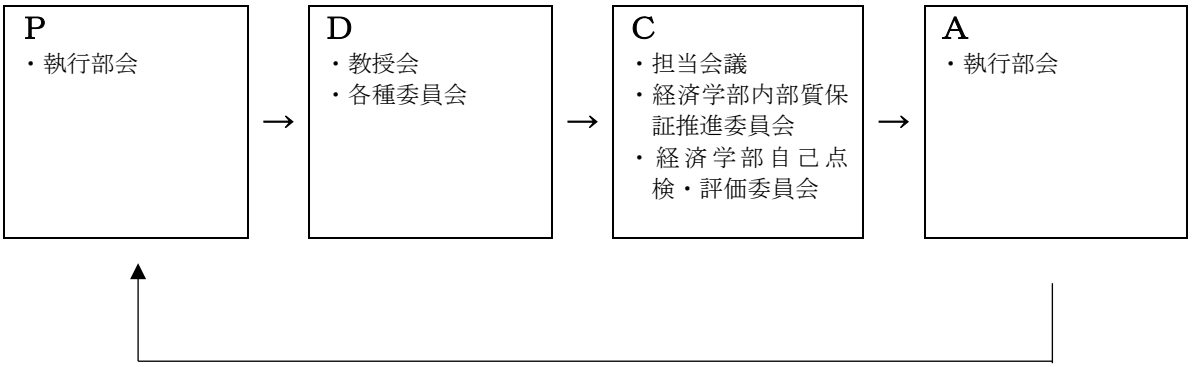
令和７年度全学自己点検・評価報告書

学部等名　　経済学部

基準２ 内部質保証

１　内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価し，改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名（例：教授会，自己点検・評価委員会，内部質保証推進委員会等）を明記してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

内部質保証システムの有効性及び適切性について定期的に点検・評価を行い，改善・向上に向けた取組を行っていること。

＜評価の視点＞

・内部質保証システムの整備や機能の状況を定期的に点検・評価し，その結果に基づき，教育の質を保証する仕組みとしてより有効に機能できるよう改善・向上に取り組んでいるか。

⑪　学部等における内部質保証システムが有効に機能しているか，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

内部質保証体制として，学部の運営方針や改善計画を執行部会にて立案する（Plan)。その方針に基づき，教授会における審議・決定を経て，各種委員会等が具体的な教育研究活動や業務を遂行する（Do)。これらの活動状況については，担当会議で各種委員会の運営内容等を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check)。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決に向けた改善策を策定し，次年度の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的な改善事例として，外部評価結果への対応が挙げられる。外部評価者が作成した外部評価報告書を経済学部内部質保証推進委員会において点検・評価した際，学務・学生生活に関する課題が指摘された。これを受け，経済学部内部質保証推進委員会から学務担当（学務委員会)・学生担当（学生生活委員会）へ改善策の検討を指示した。その後，各委員会から提出された改善案が執行部会に諮られ，学部としての具体的な対策が決定・実行された。

その一例として，近年，スマートグラスや超小型イヤホン等のウェアラブル端末，生成ＡＩ

を悪用した不正行為の手口が巧妙化している現状を踏まえ，執行部会から学務担当に対し，最新の不正行為に関する情報収集及び対策の強化を指示した。これを受け，学務委員会で従来の不正行為への対応のほか，使用禁止デバイスの明確化や最新のデバイス特性を踏まえた具体的な未然防止策を検討している。

3　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（是正勧告）】

三つの方針の検証については，現時点において会議体での取組が行われておらず，点検・評価や改善にかかる活動が確認できないことから，是正が必要である。ただし，今後，経済学部内部質保証推進委員会等において検討及び改善を行う体制を整備する方針が示されているため，速やかに具体的な取組へと移行するよう是正されたい。

【提言（改善課題】

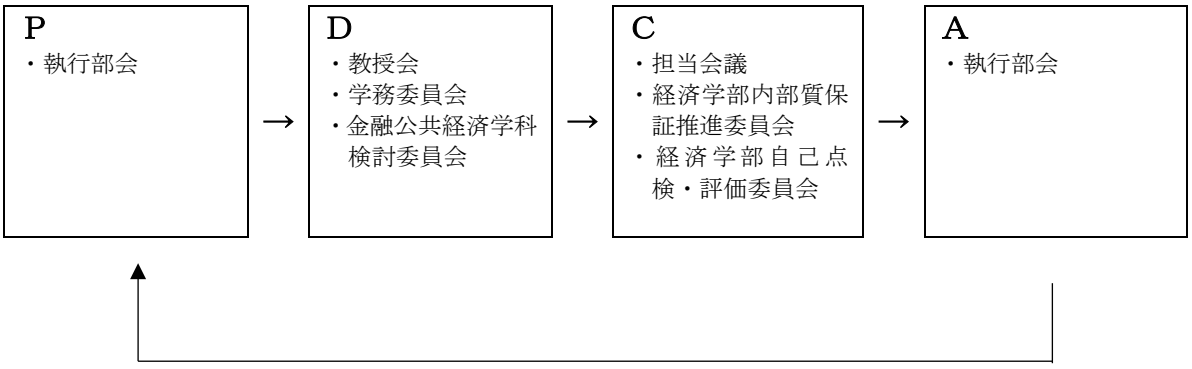
令和６年度大学評価（認証評価）結果において，基準４の概評で「学習成果の測定・把握がアセスメント・テストに限定されており不十分」であると指摘されている。基準２は基準４と相互に関連するため，経済学部内部質保証推進委員会が主導し，学習成果の測定方法を多面的に整備・拡充し，教育改善に活用できる体制を構築するよう，改善が求められる。

「令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果」で付された提言（是正勧告，改善課題）への対応について，経済学部内部質保証推進委員会において，指摘内容の事実確認及び検討を行った。その検証結果に基づき，経済学部内部質保証推進委員会名をもって，指摘事項に関連する学務担当（学務委員会）及び入試管理委員会委員長に対し，提言（是正勧告，改善課題）と検証所見に係る現状の課題分析及び具体的な改善策の策定を指示した。今後は，各担当部署から提出される改善計画に基づき，ＰＤＣＡサイクルを回しながら改善・向上を図っていく予定である。

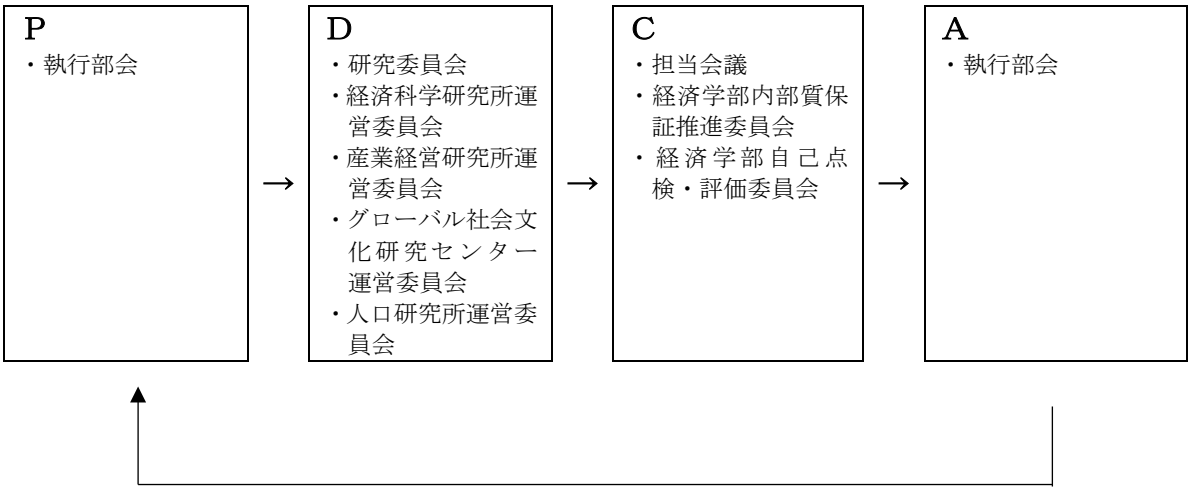
基準３ 教育研究組織

１　教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【教育組織に関する事案】



【研究組織に関する事案】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

教育研究組織の適切性について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育研究組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教育研究組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑫　学問の動向や社会的要請等に対応すべく，学科や研究所の新設，学科の改組等，教育研究組織の見直しについて，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

教育組織に関する事案については，学科の改組等を含めた教育組織の方針を執行部会で立案の上（Plan），その方針に基づき学務委員会で計画を具体化し，教授会で審議・決定を経ている

(Do)。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check)。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や更なる教育組織の適正化に向けた改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

平成 20 年に新設された金融公共経済学科においては，令和４年度以降，収容定員の未充足状態が継続している。この状況に対処すべく，令和７年度に金融公共経済学科検討委員会を設置した。同委員会及び学務委員会が金融公共経済学科の教育内容や昨今の志願動向を総合的に検証し，カリキュラムと収容定員の見直しを含めた検討を行い，改善方針を取りまとめた。

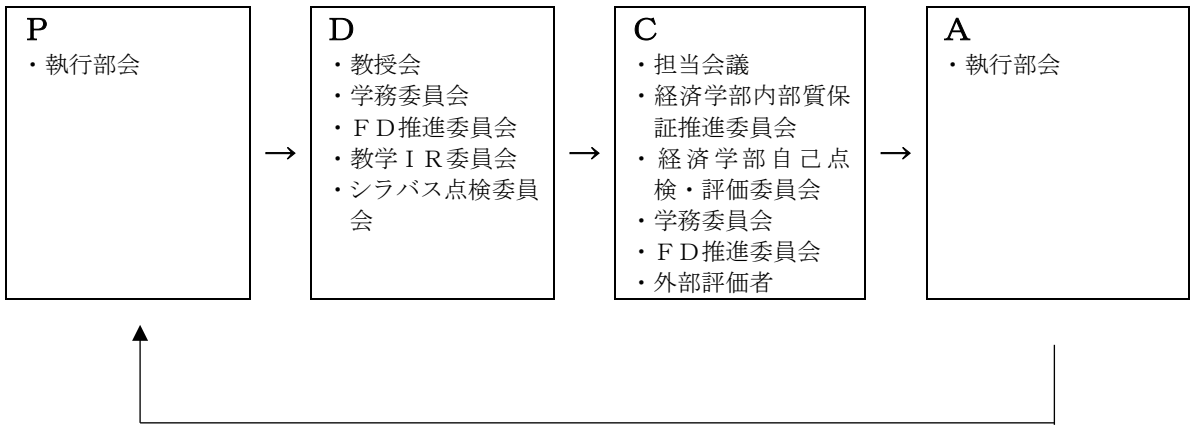
研究組織に関する事案については，執行部会を中心に，現状の問題点，課題を抽出の上，運営方針を立案し（Plan)，研究委員会，各研究所・研究センター運営委員会を経て，計画を具体化・実行している（Do)。また，これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価した（check）上で，執行部会が改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき,【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準４ 教育・学習

１　教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目⑥

教育課程及びその内容，教育方法について定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等を明確にしているか。**
- **課程修了時に求められる学習成果の測定・評価結果や授業内外における学生の学習状況，資格試験の取得状況，進路状況等の情報を活用するなど，適切な情報に基づいているか。**
- **自己点検・評価の結果を活用し，教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に取り組んでいるか。**

⑤1　教育課程及びその内容，教育方法に関する自己点検・評価の基準，体制，方法，プロセス，周期等について記述してください。

教育課程及びその内容，教育方法等に関する方針は，執行部会で立案（Plan）し，その方針に基づき学務委員会，ＦＤ推進委員会，教学ＩＲ委員会又はシラバス点検委員会で計画を具体化し，教授会で審議・決定を経ている（Do)。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check)。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や更なる教育組織の適正化に向けた改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

学務委員会では，教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）との整合性を評価の基準とし，教育課程の内容等が適切であるか年に１度の周期で自己点検・評価を実施している。

ＦＤ推進委員会では，半期ごとに「学生による授業アンケート」を実施し，その結果を教員にフィードバックしている。学生からの指摘に対して，教員は「授業改善計画報告書」の作成を義務付けられており，個々の授業改善につなげている。また，毎年教員が，他の教員が行う授業を聴講する機会「学部内公開授業」を設け，聴講した教員に対してアンケートを実施し，その結果を授業担当教員にフィードバックして教育内容や教育方法等の改善に役立てる仕組みとなっている。

さらに，教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）等の適切性については，外部評価者（学外の有識者）による点検・評価を年に１度の周期で実施し，その結果を学務委員会及び経済学部内部質保証推進委員会に報告することで，客観的な視点も導入している。

㊸　教育課程及びその内容，教育方法の改善・向上に当たり，自己点検・評価の結果をどのように活用しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学務委員会では，教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）との整合性を評価の基準とし，教育課程の内容等について自己点検・評価し，その結果を次年度の学部要覧やシラバス等の改定に活用している。

ＦＤ推進委員会では，教育方法の改善に関しては，前学期及び後学期に実施する「学生による授業アンケート」の結果を教員へ個別にフィードバックしている。これを受け，教員は学生からの指摘に対する具体的な改善策（教材の見直しや教授法の変更等）を「授業改善計画報告書」として作成する義務を負い，教育内容や教育方法の改善に活用している。また，「学部内公開授業」を参観した教員が記載したアンケートは，授業担当教員にフィードバックすることにより，教員目線による教育内容や教育方法の改善に役立てている。

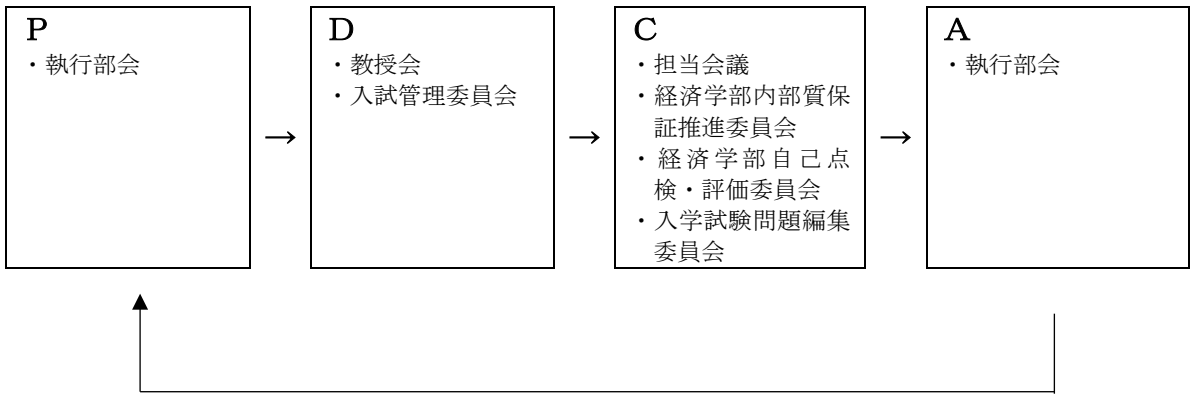
さらに，教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）等の適切性については，学外の有識者による外部評価の結果を学務委員会及び経済学部内部質保証推進委員会へフィードバックし，教育課程等の改善に活用している。令和７年３月に実施した外部評価によって指摘された教育課程の実施・編成方針（カリキュラム・ポリシー）及び学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）等に対する事項については，学務委員会で対応策を検討し，改善に向けた見直しを進めている。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

基準５ 学生の受け入れ

１　学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目③

学生の受け入れに関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・学生の受け入れに関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，学生の受け入れに関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

㊾　学生の受け入れに関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生の受け入れ方針については，執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき入試管理委員会が志願者の動向等を踏まえ，試験制度，入試区分ごとの募集人員及び学校推薦型選抜（指定校制）（以下「指定校制」という）の高校選定の見直しなどを行っている（Do）。

試験問題については，校正を複数回行うとともに，試験の前後に異なる外部機関に秘密保持を含む業務委託契約を交わした上で，試験問題の事前・事後チェックを依頼し，出題の誤り防止に努めると同時に問題の適切性について外部評価を取り入れている。

また，入学試験問題編集委員会，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や更なる適正化に向けた改善策を策定し，次年度以降の入学者選抜（制度）改革に反映させる（Action）体制を整えている。

改善・向上を図った事例等については，定員割れが続く金融公共経済学科の状況を踏まえ，経済学部内部質保証推進委員会から入試管理委員会委員長に対し，要因を分析の上，定員管理の適正化に向けた具体的な改善策の検討を指示した。これを受け，入試管理委員会で以下３点の改善を行った。

(1)　金融公共経済学科のみに，付属高等学校を対象とした指定校制を設けた。

(2)　付属特別選抜において，付属高等学校ごとに設けた学科ごとの定員を充足した場合，金

融公共経済学科のみに２名の追加枠を設けた。
(3)　令和８年度総合型選抜から，論文・プレゼンテーションによる選考を廃止し，探究学習評価型を導入した。

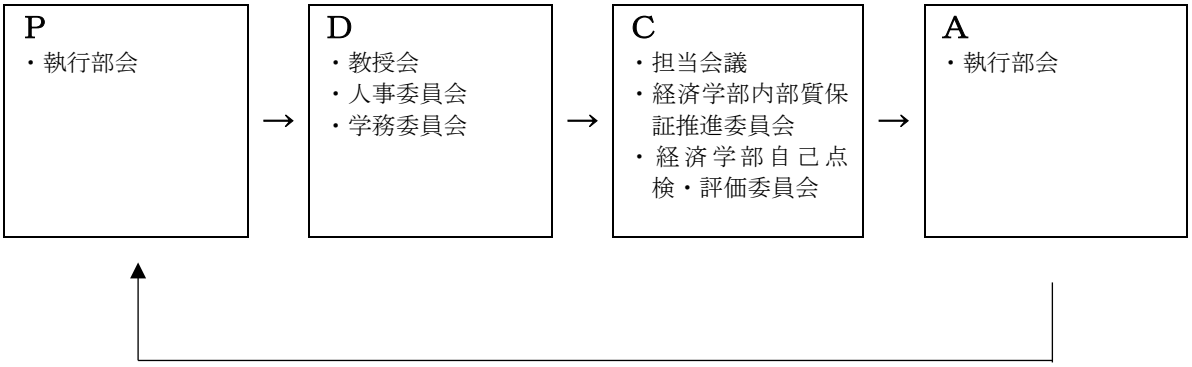
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】
過去５年間の入学定員に対する入学者数比率の平均について，金融公共経済学科が 0.88 と低いため，定員管理を徹底するよう改善が求められる。

「令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果」で付された提言（是正勧告，改善課題）への対応について，経済学部内部質保証推進委員会において，指摘内容の事実確認及び検討を行った。その検証結果に基づき，経済学部内部質保証推進委員会名をもって，指摘事項に関連する入試管理委員会委員長に対し，提言（改善課題）と検証所見に係る現状の課題分析及び具体的な改善策の策定を指示した。オープンキャンパスや学校訪問等により積極的に金融公共経済学科の魅力を発信しているものの過去５年間の入学定員に対する入学者数比率の平均が 1.00 に満たない現状に鑑み，入試管理委員会において，広報戦略の適切性の分析や付属高等学校や予備校からの情報により志願動向を収集し，学科の魅力が受験生に正しく伝わっているのかなどを検証するなど，ＰＤＣＡサイクルを適切に循環させた上で，改善していく。

基準６ 教員・教員組織

１　教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **教員組織に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，教員組織に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　教員組織に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

大学設置基準や長期的な人事計画に基づき，学部等教員組織編成方針及び教員配置計画を執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき学務委員会及び人事委員会で計画を具体化し，教授会で審議・決定を経ている（Do）。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決や更なる教員組織の適正化に向けた改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

改善・向上を図った事例として，経済学部人事関連内規等の改正が挙げられる。従来の内規等が実態に即したものではない点や「教員資格審査規程」を満たしていない点等の指摘があり，人事委員会が現行に即した専任教員採用の審査プロセスの整理，採用と昇格・再任の分化，「教員資格審査規程」第３条の導入及び審査基準の改善を行った改正案を作成した。担当会議及び執行部会を経て，教授会で審議・決定し，令和６年度から運用を開始した。これにより，人事手続の透明性・公正性の向上を実現している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組

むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

【提言（改善課題）】

ＳＡに対する体系的なガイダンスや研修は実施されておらず，業務に必要な基本的な心構えや教育補助者としての役割理解，ハラスメント防止や守秘義務等に関する共通理解の機会が不足している点は改善が求められる。

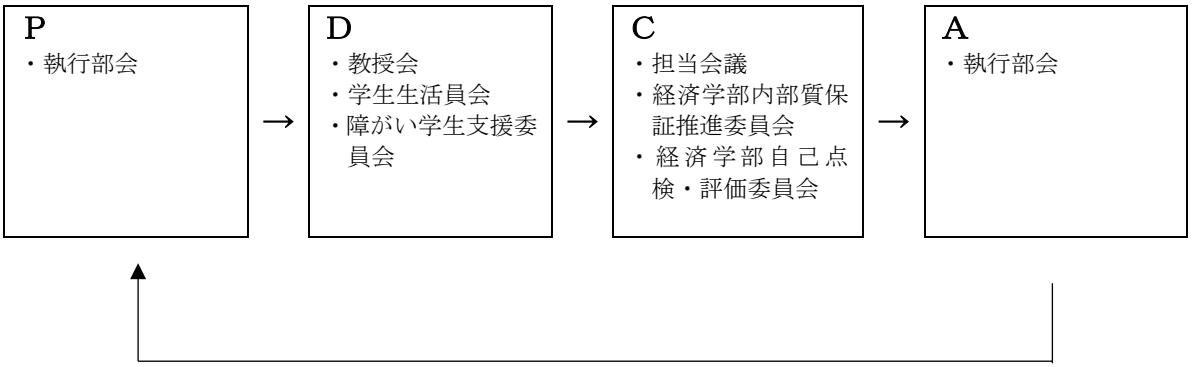
令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（改善課題）にて「ＳＡに対する体系的なガイダンスや研修は実施されておらず，業務に必要な基本的な心構えや教育補助者としての役割理解，ハラスメント防止や守秘義務等に関する共通理解の機会が不足している点は改善が求められる。」と指摘された。

この提言に対し，教務課員がＳＡに対して個別に業務内容・役割や守秘義務等の説明を対面指導により行っており，さらに令和７年度から研修動画（ＳＡの役割・業務内容や心構え，各種ハラスメント防止，守秘義務及び個人情報・情報セキュリティの適切な取扱いに関する注意事項，教員補助や学生支援を行う上での留意事項などＳＡとしての基本事項を体系的に理解できる動画）の視聴を義務付け，併せて視聴後に研修内容の理解度アンケートを実施し，研修内容が確実に理解できたことを確認している。

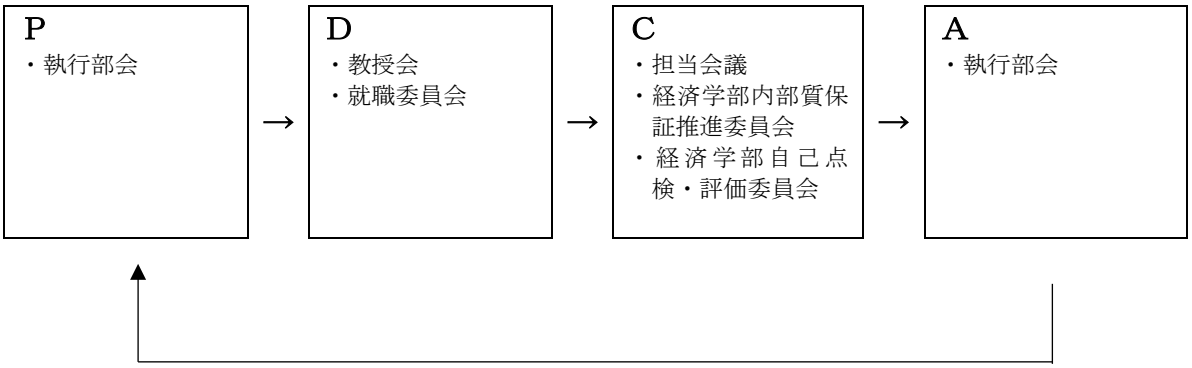
基準７ 学生支援

１　学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【学生生活に関する事案】



【進路選択に関する事案】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

学生支援に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **学生支援に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，学生支援に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

㊽　学生支援に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

学生生活に関する事案については，学部の方針を執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき，課外活動や各種奨学金などの学生生活全般に対する支援を学生生活委員会，合理的配慮の提供や障がいのある学生への支援を障がい学生支援委員会で計画を具体化し，教授会で審議・決定を経ている（Do）。これらの活動状況については，担当会議で運営内容等を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題

解決に向けた改善策を策定し，次年度の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的な改善・向上を図った事例として，外部評価結果への対応が挙げられる。学外者による外部評価報告書で指摘を受けた事項に基づき，経済学部内部質保証推進委員会では，改善事項として「部活動・サークル活動支援の姿勢」及び「学生を対等な教育パートナーと捉えた支援の在り方」が示された。これらの指摘事項に対し，学生生活委員会では，学生サービスの質向上を目的とし,「学生のニーズや期待に寄り添った窓口対応や親しみやすい案内や明確な手順を提供する」及び「学内イベント等で学生が主体的に意見を述べることができる環境や意思決定に関与できる環境を整える」等の改善案を提示し，執行部会に諮られ，学部としての改善に向けた取組方針が示された。

また，障害者差別解消法の改正に伴う合理的配慮の提供義務化を受け，執行部による体制強化の指示に基づき，令和６年度から学生支援窓口の拡充を行った。具体的には，学生支援窓口に社会福祉士２名・看護師１名の計３名による有資格者体制を整備し，合理的配慮の円滑な提供及び入学から卒業まで，きめ細やかで一貫した支援が可能となった。

進路選択に関する事案については，学部の方針を執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき就職委員会で計画を具体化し，教授会で審議・決定を経ている（Do）。これらの活動状況については，担当会議で運営内容等を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決に向けた改善策を策定し，次年度の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

改善・向上に取り組んだ事例としては，障害者差別解消法の改正に伴う合理的配慮の提供義務化を受け導入した「修学上の合理的配慮が必要な学生のキャリア相談」が挙げられる。これは，就職指導課と学生支援室（学生支援窓口）が連携し就職支援を行う学部の方針を就職委員会で具体化したものである。相談には，キャリアコンサルタント及びメンタルヘルス系の有資格者，障がい者支援業務経験のあるカウンセラーを配置し，学生支援窓口と連携して一人一人の状況に応じたきめ細やかな就職支援体制を整えた。

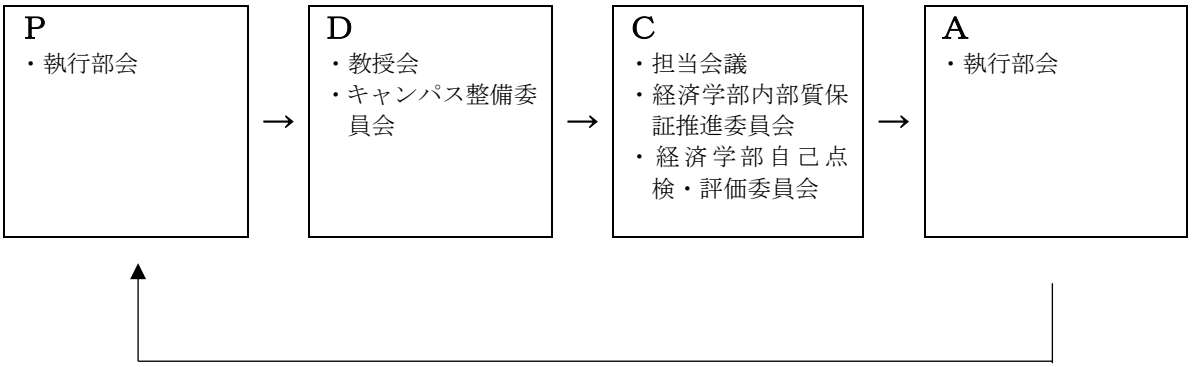
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき,【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

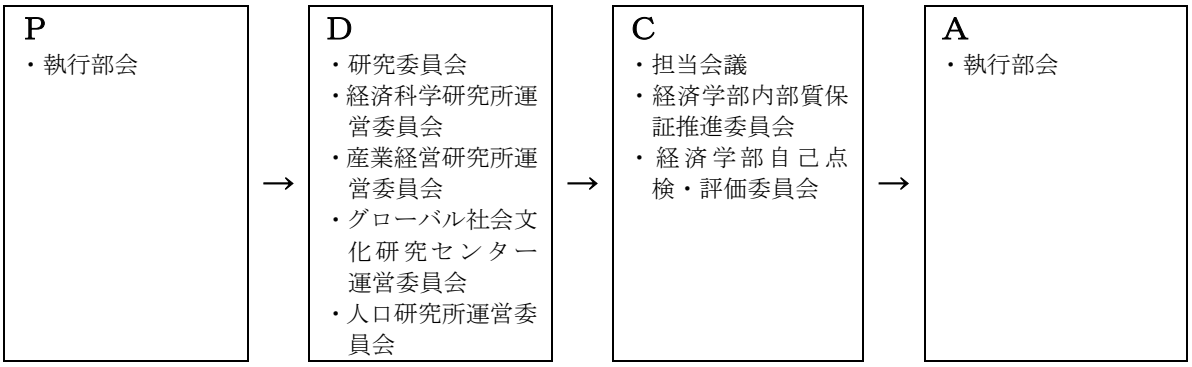
基準８ 教育研究等環境

1　研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【研究室等の施設・設備に関する事案】



【研究費等に関する事案】



2　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目④

教育研究等環境に関わる状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

- **研究等環境に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。**
- **点検・評価の結果を活用して，研究等環境に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。**

⑩　研究等環境に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

経済学部では，研究室等の施設・設備関する事案については，運営方針を執行部会で立案し（Plan），その方針に基づき教授会における審議・決定を経て，キャンパス整備委員会で計画を具体化・実行している（Do）。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check）。その評価結果に基づき，執行部会で課

題解決や更なる環境向上に向けた改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

令和７年９月に竣工した本学部２号館の事例を挙げると，当初の計画では，各教員の研究室への洗面台の設置は検討されていなかったが，設計段階における検討・検証の過程で，コロナ禍を経て定着した新しい衛生基準や社会情勢の変化を踏まえ，個室内での手洗い・うがい等，衛生環境の確保が必要との意見があった。これを受け，執行部会及びキャンパス整備委員会で計画の見直しを行い，全研究室への洗面台の設置を決定・実行した。この変更により，感染症対策が強化されるとともに，研究活動における教員の安心・安全が確保され，より研究に専念できる環境の構築につながっている。

研究費等に関する事案については，研究する上での現状の問題点，課題を抽出の上，執行部会を中心に運営方針を立案している(Plan)。研究委員会，各研究所・研究センター運営委員会を経て，計画を具体化・実行している（Do)。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価した（Check）上で，執行部会が改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的事例として，リサーチ・ラボの開設当初，利用管理システムの導入は検討されていなかった。しかし，担当会議の点検・評価の過程において，予約システムの必要性について懸念が挙げられた。これを受け，研究委員会にて再検討を行った結果，システムの導入を決定・実行した。導入後は，利用者予約状況を随時確認できるようになったことで利便性が向上し，研究活動の活性化につながっている。

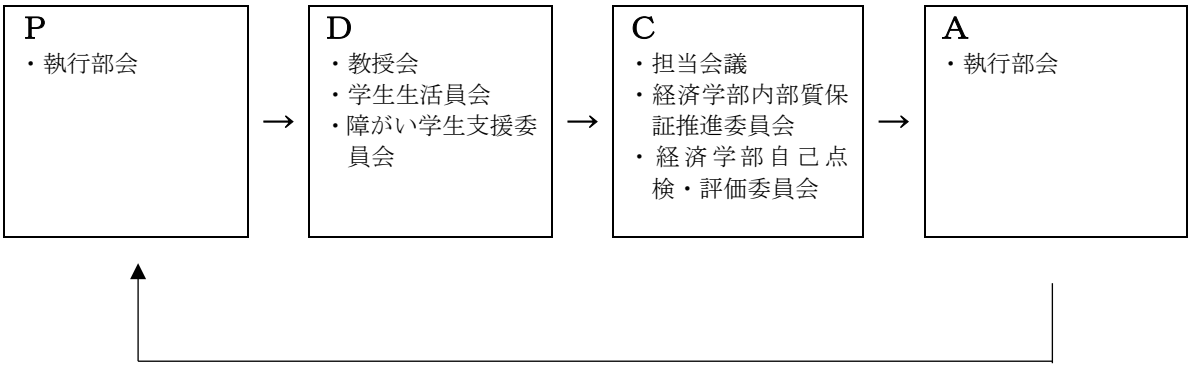
３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし

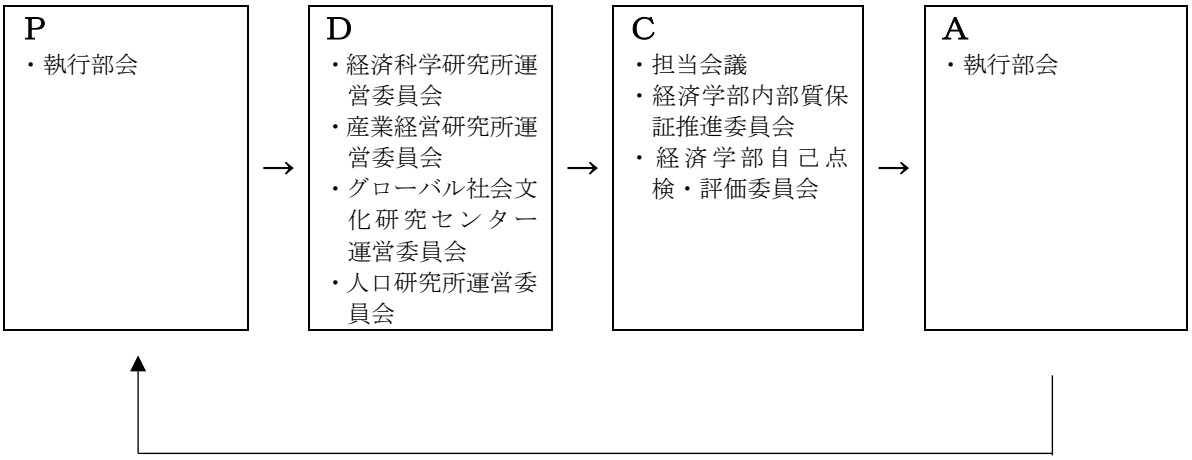
基準９ 社会連携・社会貢献

１　社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，その結果を活用して改善・向上につなげていくサイクルに関して，以下のＰＤＣＡサイクル図に該当する組織名を明記してください。なお，事案により対応する組織名が異なる場合は，下記の図をコピー＆ペーストして，事案ごとにそれぞれ記載してください。

【学生生活に関する事案】



【研究に関する事案】



２　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，以下の設問に回答してください。

点検・評価項目②

社会連携・社会貢献活動の状況を定期的に点検・評価し，改善・向上に向けて取り組んでいること。

＜評価の視点＞

・社会連携・社会貢献に関わる事項を定期的に点検・評価し，当該事項における現状や成果が上がっている取組及び課題を適切に把握しているか。

・点検・評価の結果を活用して，社会連携・社会貢献に関わる事項の改善・向上に取り組み，効果的な取組へとつなげているか。

⑯　社会連携・社会貢献に関わる事項について，どの組織が，どのように点検・評価（検討・検証）しているか記述してください。また，その結果，改善・向上を図った事例等について記述してください。

社会連携・社会貢献において学生に関わる事項については，学部の方針を執行部会で立案し(Plan)，その方針に基づき学生生活委員会や障がい学生支援委員会で計画を具体化し，教授会で審議・決定を経ている。その上で，学生課又は学生支援窓口が，千代田区や千代田区社会福

社協議会，ＮＰＯ法人，神田警察署等と連携し，ボランティア活動を含む社会貢献活動や地域連携を遂行している。これらの活動状況については，担当会議で運営内容等を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価を行っている（Check)。その評価結果に基づき，執行部会で課題解決に向けた改善策を策定し，次年度の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的な改善・向上を図った事例として，学部長が定めた「社会課題解決型学部実現に向けた方針」への対応が挙げられる。この方針を受け，学生生活委員会では，社会課題を解決するＳＤＧｓ等への取組を行う学生の課外活動への支援として，「社会課題解決型学生プロジェクト」を令和７年度に新設した。当年度は，１件の申請があり，実施に向けて千代田区と連携しながら準備を進めている。

研究に関する事案については，現状の問題点，課題を抽出の上，執行部会を中心に運営方針を立案している(Plan)。研究委員会，各研究所・研究センター運営委員会を経て，計画を具体化・実行している（Do)。これらの活動状況については，担当会議で進捗状況を常時確認（モニタリング）するとともに，経済学部自己点検・評価委員会及び経済学部内部質保証推進委員会において定期的な検証・評価した（Check）上で，執行部会が改善策を策定し，次の計画へと反映させる（Action）体制を整えている。

具体的な事例として，各研究所・研究センターでは，学外の研究者や実務家を招いて講演会を開催し，地域住民を含む一般社会人にも公開している。講演会終了後には，参加者アンケートを実施し，寄せられた評価や改善要望について，各運営委員会で運用面を含めた協議を行っている。その改善策の一環として，周知強化のために千代田区内にポスターを掲示するなど改善・向上に努めている。また，運営委員会では，各教員から申請された研究プロジェクトについて，その成果が社会へ還元可能かという観点も含めて検討を行っている。これらの活動を通じ，大学の研究能力と企業・団体のノウハウを連携させた受託研究・共同研究へと発展させることを目指している。

３　上記１のＰＤＣＡサイクル図に基づき，【添付書類⑤】令和６年度全学自己点検・評価結果に対する検証結果で付された当該基準における提言（是正勧告，改善課題）にどのように取り組むかを記述してください。提言（是正勧告，改善課題）が付されている学部，通信教育部，大学院研究科及び短期大学部（各校舎）のみ御回答ください。

なし